

電気通信大学 平成19年度シラバス

|         |                    |          |       |
|---------|--------------------|----------|-------|
| 授業科目名   | 技術者倫理              |          |       |
| 英文授業科目名 |                    |          |       |
| 開講年度    | 2007年度             | 開講年次     | 3年次   |
| 開講学期    | 後学期                | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法   |                    | 単位数      | 2     |
| 科目区分    | 専門科目-学科専門科目-必修科目   |          |       |
| 開講学科・専攻 | 知能機械工学科            |          |       |
| 担当教官名   | 佐藤 国仁 (連絡担当: 村田 眞) |          |       |
| 居室      | 東4 - 502 (村田)      |          |       |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 公開E-Mail             | 授業関連Webページ  |
| murata@mce.uec.ac.jp | <a href="http://www.murata.mce.uec.ac.jp/">http://www.murata.mce.uec.ac.jp/</a> |

|  |
|--|
| <b>【主題および達成目標】</b>   |
| <p>自らの業務に責任を負うことのできる専門職技術者となるためには、専門能力、業務遂行能力、行動原則遵守の能力を備えることが必要です。この講義では、技術者として遵守すべき倫理規範（技術者倫理）および機械制御を専門とするものにとって必須の専門能力である安全確保のための技術（機械安全）の2つのテーマを学びます。</p> |

|                         |
|-------------------------|
| <b>【前もって履修しておくべき科目】</b> |
| 3年次、前期までの必修科目           |

|                              |
|------------------------------|
| <b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b> |
| 特にありません                      |

|   |
|---|
| <b>【教科書等】</b>                               |
| 必須教科書は設定しません。必要資料は教員が準備します。参考図書は、その都度紹介します。 |

【授業内容とその進め方】

下記内容を予定しています。

- 1．技術者倫理基礎
  - 1)技術者倫理概説
  - 2)技術者倫理の基本原則
  - 3)プロフェッショナルエンジニア（専門職技術者）と倫理
  - 4)技術者が社会に対して負う責任
  
- 2．機械安全の技術と責任
  - 5)機械安全の国際規格
  - 6)機械安全の工学（リスクアセスメント）
  - 7)機械安全の工学（リスク低減方策）
  - 8)製造物責任法と技術者倫理（含む、模擬裁判）
  
- 3．環境問題と技術者の責任
  - 9)環境を保全する技術者の役割
  
- 4．ケーススタディ、倫理実践
  - 10)倫理に関わる事例の紹介および各班のテーマ選定
  - 11)同上（各グループ調査）
  - 12)同上（各グループプレゼンテーション）
  - 13)同上（各グループプレゼンテーション続き）
  
- 5．総括
  - 14) 企業における技術者倫理の実践

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義時の小論文(40%)、ケーススタディ調査レポート(30%)、最後の全体レポート(30%)

【オフィスアワー：授業相談】

- 1)毎回講義後
- 2)メール受け付け sato@sato-rd.co.jp

【学生へのメッセージ】

これまでの技術者は所属組織（企業等）にのみ責任を負い、社会に対して直接責任を負うことはなかった。しかし、これからは、専門職技術者として所属組織と社会の双方に責任を負って業務を遂行することとなります。皆さんの学科の場合には、このような責任を負うためには、技術者の倫理という規範を学ぶことが非常に重要です。さらに、倫理規範の遵守にあたって、専門技術に関連して、自分が開発、設計する機械が人に災害を与えない、すなわち安全に機能させるための、機械安全技術を修得することが重要です。この2つのテーマを、この講義で学習しましょう。

【その他】